がんばろう！東北

北上川下流河川事務所
平成２５年７月２５日

平成２５年７月低気圧による降雨にかかる治水事業(災害復旧、内水排除)の効果について

北上川水系江合川では、平成２５年７月１８日に降り出した低気圧による降雨に伴い、涌谷水位観測所（涌谷町）ではん濫危険水位（レベル４）を超え、観測史上５番目の洪水となり、荒雄水位観測所（大崎市）ではん濫注意水位（レベル２）を超え、観測史上３番目の洪水となりました。

江合川直轄管理区間は東北地方太平洋沖地震に伴い、液状化等による堤防の被災が発生したことから、これまで災害復旧事業を進めてきており、今回の降雨に際し、洪水を安全に流下させる機能を発揮しました。

また、内水氾濫による浸水被害軽減対策として、排水ポンプ車を出動させ、被害の軽減を図りました。

〇災害復旧事業の効果

江合川直轄管理区間は東北地方太平洋沖地震に伴い、計37箇所で堤防の被災が発生しましたが、一部区間（※）を除き、平成25年6月末まで災害復旧工事が完成しており、今回洪水では外水氾濫に伴う浸水被害は発生しておりません。

なお、はん濫想定として、江合川右岸6.8k付近が破堤した場合には、今回洪水規模では床上浸水6戸、農地145haの浸水被害が発生し、重要交通網である国道108号の通行止めやJR石巻線が不通となるなど甚大な被害が想定されます。

※一部区間については復旧工事中ですが、被災前の堤防と同等の高さ、性能をもった綱矢板による仮締切堤防が平成25年5月中旬までに完成しております。

〇内水氾濫による浸水被害軽減対策の効果

江合川千刈田地区（涌谷町）では、排水ポンプ車により内水（宅地側にたまった水）を江合川へ排水させ、浸水被害の軽減を図りました。仮に内水排除が行われなかった場合、約3haの浸水が発生したと想定されます。

本資料に掲載する数値等は速報値であり、今後の精査により変更する場合があります。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/】
記者発表会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼８０
電話　０２２５－９５－０１９４　　（代表）
副　所　長　　本田　英則（内線２０４）
調査第一課長　　山田　拓也（内線３５１）

平成 25年　7月25日
北上川下流河川事務所

～ 平成25年7月18日　低気圧に伴う降雨～
治水事業（災害復旧、内水排除）の効果

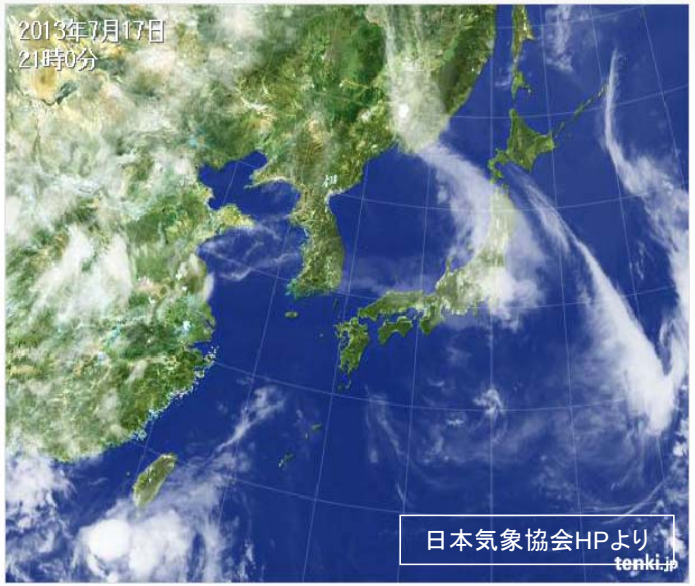
水位情報等は速報版に付き、今後変更となる可能性があります。

平成25年7月18日発生　低気圧に伴う出水の概要

日本海にあった低気圧が東北地方を通過し、低気圧に向かう暖かい湿った空気や上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、１７日夜の始め頃から東北地方に雨が降り続いた。

降り始め（１７日１９時）から１８日２４時までの主な地点の総雨量は次のとおりである。

宮城県大崎市鳴子　　１３７mm
大崎市荒雄　　１１４mm
加美町寒風沢　　１２６mm



洪水の状況

北上川水系江合川において水位の上昇が大きく、**涌谷水観測所では、はん濫危険水位（レベル４）を超え観測史上５番目**の洪水となり、**江合川の荒雄水位観測所では、はん濫注意水位（レベル２）を超え、避難判断水位に迫る観測史上３番目**の洪水規模となった。

水系	河川名	観測所	今回最高水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
はん濫危険水位　以上						
	北上川	江合川	涌谷	**4.98**	4.00	4.30	4.60
はん濫注意水位　以上						
	北上川	江合川	荒雄	**3.79**	3.10	3.80	4.10
	鳴瀬川	吉田川	落合	**5.02**	5.00	6.80	7.30

既往洪水の水位

年　月	北上川水系最高水位							鳴瀬川水系最高水位			
	北上川			旧北上川		江合川		鳴瀬川			吉田川
	大泉	米谷	登米	和渕	倉埣	荒雄	涌谷	三本木	野田橋	鹿島台	落合
昭和22年 9月	－	－	11.95	－	7.71	－	－	－	－	－	－
昭和23年 9月	－	－	11.44	－	7.31	－	－	－	－	－	－
昭和25年 8月	10.20	－	10.20	－	6.75	－	－	7.60	－	－	－
昭和30年 6月	9.62	11.60	9.87	－	5.90	3.72	－	2.81	－	4.68	5.51
昭和33年 9月	10.16	12.40	10.12	－	6.47	3.30	－	6.10	5.34	6.36	7.85
昭和34年 4月	－	－	－	－	－	4.68	3.81	－	－	－	－
昭和41年 6月	9.31	11.74	9.56	6.02	6.66	4.00	4.54	5.46	4.92	－	7.02
昭和49年 8月	8.08	10.95	9.03	5.35	6.19	3.74	4.96	－	－	－	－
昭和56年 8月	9.75	12.15	10.24	5.48	6.60	3.39	4.73	4.67	4.18	5.87	4.44
昭和57年 9月	－	－	－	4.49	－	－	－	5.93	5.50	6.80	6.85
昭和61年 8月	8.43	10.88	9.01	5.65	6.39	3.10	4.80	5.70	5.55	7.29	7.89
平成　1年 8月	－	－	－	4.69	5.09	3.44	5.19	5.47	5.43	6.89	6.80
平成　6年 9月	7.76	10.14	8.31	4.55	4.96	3.69	5.48	6.01	5.94	7.32	5.79
平成10年 8月	9.77	11.84	9.79	5.76	6.31	3.11	4.70	－	3.38	－	5.82
平成14年 7月	10.83	12.44	10.41	6.10	6.88	3.66	5.64	4.75	5.14	6.82	7.08
平成21年10月	3.87	7.09	5.63	4.09	4.48	2.83	4.04	4.41	4.61	6.11	6.21
平成23年 9月	8.61	10.80	8.80	5.04	5.74	2.84	4.45	4.39	5.14	6.64	7.14
平成24年 5月	8.23	10.54	8.59	5.26	5.84	3.46	5.37	4.41	5.16	6.90	6.75
平成25年 7月	6.68	9.36	7.58	4.35	4.82	3.79	4.98	2.43	3.52	5.22	5.02
										※既往最高値	

東北地方太平洋沖地震による堤防の被災と迅速な災害復旧

東北地方太平洋沖地震に伴い、江合川直轄管理区間においては、**計３７箇所の堤防が被災**したが、一部区間（※）を除き平成２５年６月末までに災害復旧工事が完成。**今回の降雨に際し洪水を安全に流下させ、外水氾濫による浸水被害は発生しなかった**。

※一部区間については復旧工事中であるが、被災前の堤防と同等の高さ、性能をもった鋼矢板による仮締切堤防が平成２５年５月中旬までに完成している。

位　置　図

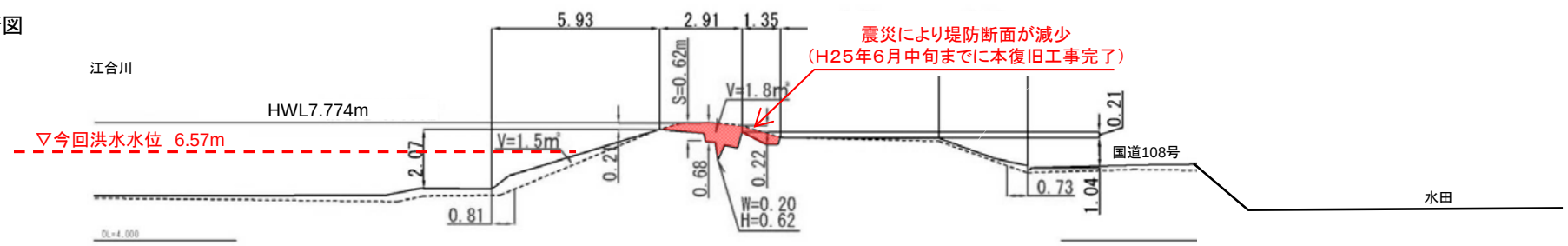
＜東北地方太平洋沖地震により被災した堤防と復旧状況＞

●江合川左岸27.6k

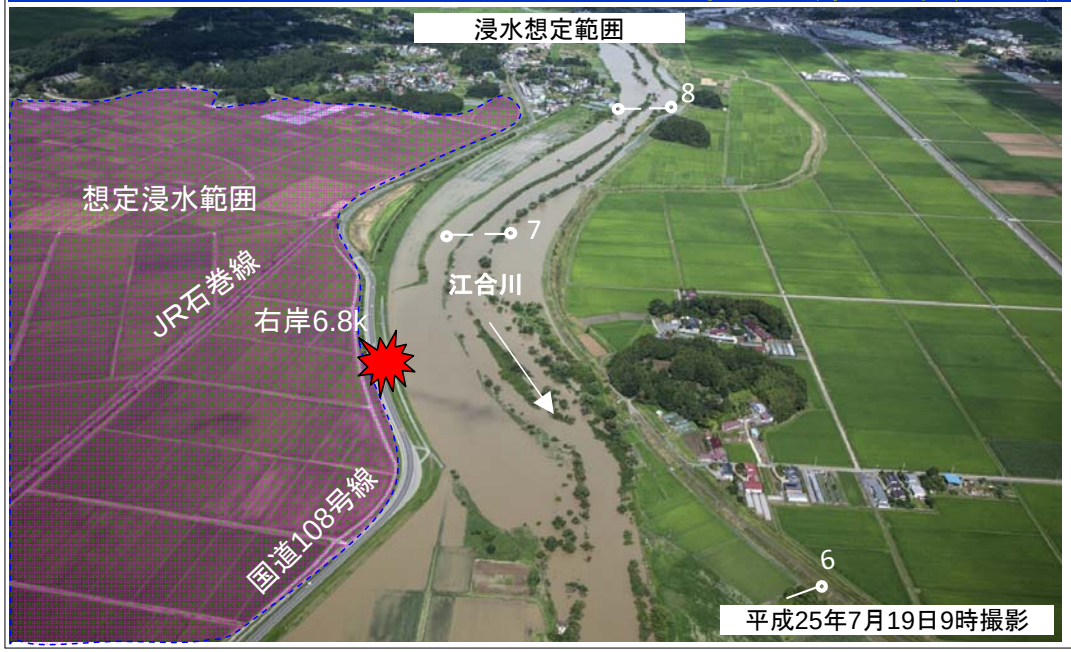
●江合川右岸6.8k

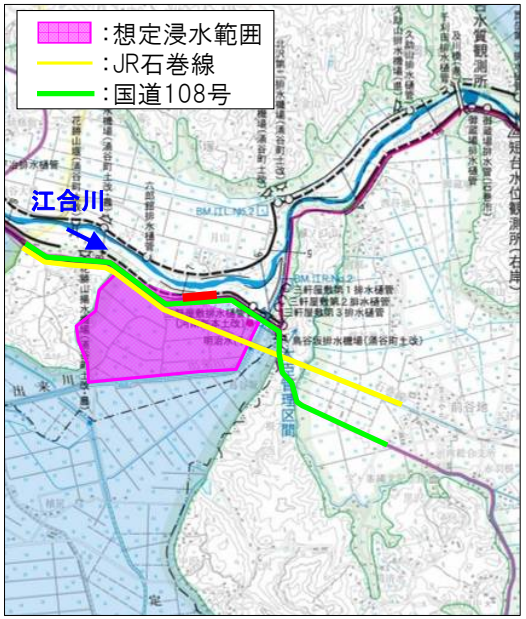
位　置　図

被災状況横断図



江合川右岸6.8k付近が破堤した場合の浸水想定





仮に、江合川右岸6.8k付近で破堤した場合には、**今回洪水規模では床上浸水6戸、農地145haの浸水被害が発生**するとともに、重要交通網である**国道108号の通行止め**や**ＪＲ石巻線が不通**となるなど、甚大な被害の発生が想定される。

※浸水想定については、今回洪水の実績水位、水位上昇量、流量をもとに、江合川右岸6.8kの堤防破堤をシミュレーションしたものである。

本資料に掲載する数値等は速報値であり、今後の精査により変更する場合があります。

浸水被害軽減対策と効果

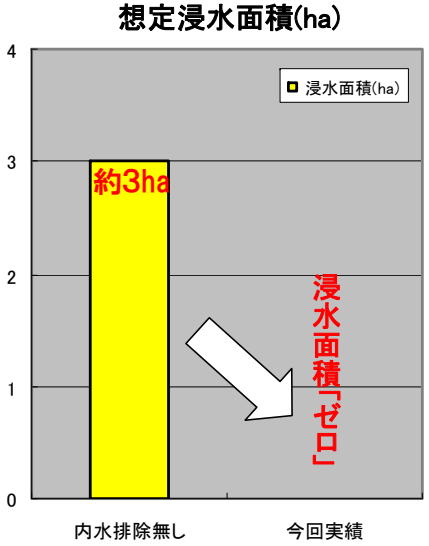
浸水被害軽減対策と効果

●内水（宅地側にたまった水）を江合川へ排水した。
●排水のため、県道を一時全面通行止めを行った。

涌谷町長の現地確認

●涌谷町の要請により、排水ポンプ車を出動
●涌谷町長が自ら現地で内水状況を確認

排水活動による効果

●排水ポンプ車（断続的に約6時間稼働）により、**約1万1千m3の内水を排水**した。（25mﾌﾟｰﾙ約36杯分に相当）

●仮に、**排水が行われなかった場合、約3haの浸水が発生したと想定**されます。